

# コンプライアンス委員会 (第5回)

令和5年3月22日

**デジタル庁**

# — 本日の議題

## 1 開会

## 2 議事

- ・ コンプライアンスに係る各種取組の推進状況について
- ・ コンプライアンス確保に関する調査について
- ・ デジタル庁情報システム調達改革検討会について
- ・ その他

## 3 閉会

## — コンプライアンスに係る各種取組の推進状況について ①

### 誓約書の提出状況

令和5年2月末時点で全ての職員から提出済

### 入札制限等の運用状況

令和4年度における関係職員の登録案件数:254件(令和5年2月末時点)

### 内部通報に関する取組状況

- ・ 令和4年4月から、内部通報の外部受付窓口を設置
- ・ 相談窓口に関するポスターを作成し、庁内に掲示するなどして職員に周知
- ・ コンプライアンス研修等において、内部通報制度について説明

## — コンプライアンスに係る各種取組の推進状況について ②

### 外部有識者等によるコンプライアンス研修の実施

(第1回)

- ・ 開催期間:令和4年9月末から10月末までの間
- ・ 対象:デジタル庁全職員
- ・ 実施方法:eラーニング形式
- ・ 内容:(全職員向け)内部通報制度と相談窓口体制  
デジタル庁独自のルール(入札制限等制度、非常勤職員の贈与等報告、飲食の届出など)  
国家公務員法における服務規律、国家公務員倫理法令 等  
(幹部職員向け)コンプライアンス違反を防止するために幹部職員として心掛けるべき事項 等

## — コンプライアンスに係る各種取組の推進状況について ③

### 外部有識者等によるコンプライアンス研修の実施

(第2回)

- ・ 開催期間:令和5年2月上旬から3月上旬までの間
- ・ 対象:デジタル庁全職員
- ・ 実施方法:eラーニング形式
- ・ 内容:(全職員向け)第1回研修の振り返り  
SNS利用に係る留意事項  
カウンターインテリジェンスに係る対応 等  
(幹部職員向け) 国内外のコンプライアンスに関する最近の事例 等

## — コンプライアンスに係る各種取組の推進状況について ④

### ガバナンス等に係る政務三役向け研修等の実施

- ・ 開催日:令和5年3月17日(金) 17時30分から18時までの間
- ・ 内容:コンプライアンス・リスクとその対応例、国内外のコンプライアンスに関する最近の事例 等

### 公務員の非行事案等に関する注意喚起

- ・ 直近で発生した事案等を取り上げ、その内容、注意すべき事項、防止策をまとめた資料を作成し、注意喚起
- ・ 内容:(第1回)パワーハラスメント事案  
(第2回)飲酒に絡む非行(事故・暴行・秘密漏洩)  
(第3回)年度末に注意すべき事項

### コンプライアンス意識向上のための啓発動画制作

- ・ 国家公務員法、国家公務員倫理法令等に違反する行為として、過去に発生した事案を再現した動画を制作
- ・ 取り上げたテーマ:①部下職員、契約事業者等に対するパワーハラスメント  
②職務上知り得た秘密の漏えい  
③調達等に関与する可能性のある事業者との不適切な交際(供応接待、利益供与等)

## — コンプライアンス確保に関する調査について

### 入札制限ルールへの運用状況に係る事後監査の実施

- ・ 入札制限等ルールについて、その運用状況と課題を整理するため、第三者(監査法人)による事後監査を実施
- ・ 監査対象は、令和4年10月時点で既に調達を終えている案件の中から、コンプライアンス委員会委員の意見も踏まえた上で選定
- ・ 主な論点は、デジタル庁における入札制限等に関する規程に係る準拠性、当該ルールによる調達への弊害、当該ルールの明確性、事務の确实性、効率性 等
- ・ 調査手法は、関係フォルダ、ログ等のフォレンジック、関係資料のレビュー、関係職員へのヒアリング 等
- ・ 報告書は、現在、とりまとめ中

# — デジタル庁情報システム調達改革検討会について

## 調達改革検討会最終報告書の概要

- ・ 情報システム調達のあり方の実現に向けた今後の取組
- ・ 主な施策
  - ① 機動的・柔軟な調達手続きの改善
  - ② システム調達における発注者側の能力向上
  - ③ 中小・スタートアップ企業等の参入機会拡大
  - ④ ベンダーロックインの排除
  - ⑤ 内部統制等による透明性の確保
- ・ デジタル庁における今後の進め方
- ・ システム調達改革における主な取り組みのロードマップ案



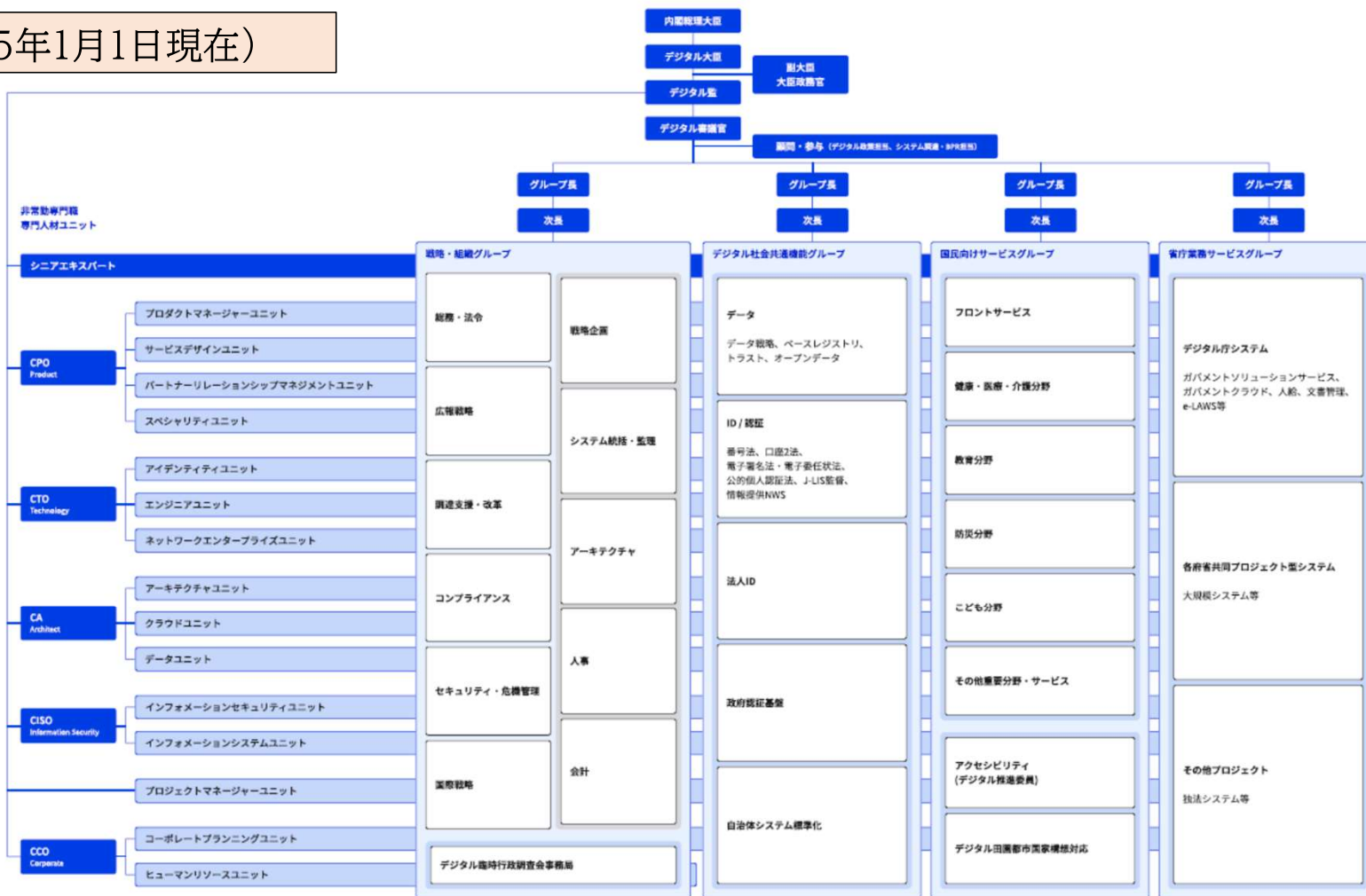
# — 參考資料

# デジタル庁の体制について

デジタル庁の体制(令和5年1月1日現在)

デジタル庁全体  
およそ800名  
(内訳)

- ・ 役人出身者450名
- ・ 民間出身者300名
- ・ その他(秘書・庶務・運転手等)50名



## 令和5年度 デジタル庁予算のポイント

- 誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、デジタル原則を踏まえたアナログ規制の横断的な見直し、デジタル推進委員等の取組を強力に推進。
  - 政府情報システムについて、年間を通じた一元的なプロジェクト監理を実施し、重複投資を排除し、効率的で利便性の高い情報システムの整備を進め、使い勝手のよい行政サービスを実現する。
  - 社会全体のデジタル化を推進、牽引していくため、司令塔となるデジタル庁の体制を強化。
- ⇒ デジタル化による新しい付加価値を生み出し、社会的課題を解決するため、

誰一人取り残されないデジタル社会の実現を目指す。

	4年度	5年度	対前年度	(単位：億円)
政 策 等 経 費	120	140	20	4年度 補正追加 93
情 報 シ ス テ ム の 整 備 ・ 運 用	4,601	4,812	211	1,119
デ ジ タ ル 庁 シ ス テ ム 等	990	1,182	193	403
各 府 省 シ ス テ ム 等	3,611	3,629	18	717
デ ジ タ ル 庁 合 計	4,720	4,951	231	1,213

### 【政策等経費】

- ・ マイナンバー制度の推進のための広報、生活に密接に関連する準公共・相互連携分野のデジタル化を推進する。
- ・ 社会のデジタル化を阻むアナログ規制の見直しを行うとともに、デジタル推進委員等を全国に展開する。
- ・ デジタル社会の実現に関する司令塔としてデジタル庁の体制を強化（定員83名、非常勤職員117名、期間業務職員16名の増）。

### 【情報システムの整備・運用】

年間を通じた一元的なプロジェクト監理を実施し、重複投資を排除し、効率的で利便性の高い情報システムの整備を進める。

#### 【デジタル庁システム等】

ガバメントソリューションサービスやガバメントクラウド等の各府省が共通で利用するシステム・ネットワークの整備、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化を加速するための環境整備、公金受取口座の金融機関経由での登録開始にかかる環境整備、共通基盤であるマイナポータルの利便性の抜本的改善、事業者に対するオンライン行政サービスの充実等を推進する。

#### 【各府省システム等】

国の情報システムの整備・管理の基本方針等に基づき、デジタル庁で整備する共通基盤等の利活用を前提としたシステムの統合・共通化、情報連携を進め、国民にとって使い勝手のよい行政サービスを実現する。

# G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の概要

## 名称

G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合

英語：G7 Digital and Tech Ministers' Meeting in Takasaki, Gunma

## 開催日程、場所

令和5年4月29日（土）、30日（日）

群馬県高崎市 ※宿泊は伊香保温泉又は高崎市内

## テーマ

社会全体のデジタル化、「信頼性のある自由なデータ流通（DFFT）」の推進、イノベーション推進に向けた新興技術、デジタル競争、責任あるAIとAIガバナンスの推進、安全で強靱性のあるデジタルインフラ、インターネットガバナンス

## 参加国等

議長国（日本：デジ庁、総務省、経産省）、G7（仏、米、英、独、伊、加）

EU、招待国、国際機関

## 関連する取組

産業界等の参画によるマルチステークホルダー会議の開催に加え、我が国のICT技術などを各国にアピールし今後の国際展開・国際連携を促進するため展示等を行うとともに、地方創生に貢献するため各種イベント等を実施



会合会場：Gメッセ群馬